

本リリースは、米国 Workday Inc. が 2020 年 6 月 24 日 (現地時間) に配信した英文リリースに基づき作成した日本語抄訳です。その内容および解釈については、英文が優先されます。



報道関係各位

Workday, Inc.

## Workday、職場環境の変化への対応を支援する新ソリューションを発表 きめ細かくパーソナライズされた従業員体験を実現

ケース作成管理を含む総合的な人事サービス「Workday Help」  
従業員の「困った」を迅速に・賢く・直感的に解決に導く

重要な場面での個別対応を可能にする「Workday Journeys」

[2020 年 6 月 24 日 (現地時間) - 米国発] - 企業向けクラウド型 [人事・財務](#) アプリケーションプロバイダ大手の [Workday](#) (本社: 米国カリフォルニア州プレザントン、NASDAQ: WDAY、以下 Workday) は、機械学習を活用してより良い従業員体験を実現する [Workday People Experience](#) 機能をさらに拡張する新ソリューション、「Workday Help」と「Workday Journeys」の提供開始を発表しました。Workday Help は、より直感的なケース管理を可能にする総合的な人事サービスアプリケーション、そして Workday Journeys はオンボーディングや管理職への昇進などの重要な局面や移行時期に、パーソナライズされた情報提供を実現します。どちらも従業員に対するエンゲージメントとサポートの向上を助け、一人一人に合わせた対応で生産性アップにもつながります。

今回、「[Workday People Analytics](#)」の提供開始も発表されました。Workday People Analytics は拡張分析アプリケーションで、従業員に関する主なリスクや業務改善の機会を洗い出し、そのインサイトをわかりやすくまとめた形で提示します。これらの新しいソリューションは Workday HCM、Workday Financial Management、[Workday Adaptive Planning](#) という Workday の一連のアプリケーションを補完するもので、[新型コロナウイルス](#) や [オフィス勤務の再開](#)、[先進的なダイバーシティ&インクルージョン](#) に関連する課題への取り組みにおいて、Fortune50 の 65% 以上を含む Workday のお客様に、さらなる支援を提供します。

### 新しいニーズに応じた新しい従業員体験

常に変化する世界では、従業員体験がこの上なく重要な意味を持ちます。新型コロナウイルスのパンデミックと昨今の社会的不正に対する抗議活動は、人々の生活に大きな影響を与え、健康、心身の幸福度、生産性にさまざまな課題として表れてきています。先行き不透明な時代、企業は従業員と職場について従来とは異なる期待に応えなければなりません。信頼感の醸成、安全と健康の確保、従業員の心身の幸福を図りながら、業務を遂行するために必要なツールやテクノロジーを提供する必要があります。

Workday People Experience は従業員体験に関する新しいソリューションで、デスクトップ版とモバイル版の両方があり、機械学習を利用して関連情報、レコメンデーション、サポートを提供し、個々の従業員のそれぞれの状況をサポートできるように設計されています。個人の職務や最もよく利用するタスク、在職期間など、Workday 内にあるデータを独自の方法で活用することで、必要な情報と実行しなければならないタスクを各従業員の手元に届けます。従業員はより直感的・セルフサービス式でいつでもどこでも必要な情報をすぐに入手でき、人事部門は戦略的な業務に注意を向けられるようになります。

従業員体験の強化を図るソリューションには以下のものがあります。

- **Workday Help:** よくある質問に対する回答を入手したり、それでは不十分な場合には人事担当部門に連絡して必要なサポートを得たりできる、人事ナレッジ・ケース管理アプリケーション。例えば、体調を崩してしまった、または新型コロナウイルスが原因で問題が生じた場合、自分の職務と勤務地の最新の休暇・福利厚生制度に関するナレッジ記事を読みながら、自分個人が対象となる福利厚生の選択肢を確認できます。必要があれば、「ケース」を作成して休暇取得の流れについて具体的に質問することもできます。質問は安全に、他人に知られることなく人事部門に送られ、人事部門がその質問に対する進捗を管理し、対応を行います。各ケースの担当者は、自分が担当するケースに関する過去のやりとりや背景情報を Workday から入手できるため、ケースの解決に必要な時間と労力、ひいてはコストの大幅な削減も図ることができます。
- **Workday Journeys:** 異動や重要な局面における個別対応を可能にする機能。個別対応は、Workday やその他の企業アプリケーションのデータを使用し、従業員の勤務地、職務、役職レベルに合わせて対応する内容を絞り込むことで実施されるため、複雑なコーディングは必要なく、素早く簡単に設定できます。危機対応、オンボーディング、人事異動、健康・心身の幸福、ダイバーシティ&インクルージョンなど、幅広い場面での従業員体験の創出を支援でき、例えば管理者向けに、チームの多様性と結束力を向上させる方法についてガイダンスを提供するプロセスを作成し、研修コース、偏見なく面接を行うためのヒントを提供するナレッジ記事、インクルージョンの醸成方法に関する教育動画などを Workday や企業内システムからタスクとして組み込むことができます。

Workday のプロダクト担当エグゼクティブ・バイスプレジデント、Pete Schlamp は次のように述べています。「誰もが自分に合った内容の従業員体験や、質問から回答までの手順短縮を求めていますし、それは当然提供されるべきです。うまく連携されたデジタル体験は、職場でのやる気を促します。これは、現在のようない時代にあっては特に重要です。Workday の基盤となるプラットフォームに機械学習を組み入れることで、きめ細かいパーソナライズされた直感的な人事ケース管理、セルフサービスによる情報取得を最も必要とされる場面で提供できます。こうして個人が自分でできることを増やして、最終的には生産性を高め、事業の成長へとつなげていくことができます。」

#### 追加情報

以下もご参照ください。

- 動画: [Workday People Experience のデモ](#)
- Workday プロダクト担当エグゼクティブ・バイスプレジデント、Pete Schlamp によるブログ記事: [「Focusing on People to Make Companies Stronger Than Ever」](#)
- [オフィス勤務再開と新型コロナウイルス](#)に関する Workday の各種参考資料

#### Workday, Inc. (米国ワークデイ)について

[米国ワークデイ](#)はクラウド型人事・財務用エンタープライズ アプリケーションプロバイダです。2005 年に設立された米国ワークデイは、世界最大規模の企業、教育機関、官公庁などの組織で使用されることを念頭に設計されたヒューマンキャピタルマネジメント (HCM)、ファイナンシャルマネジメント、ビジネスプランニング、および分析用アプリケーションを提供しており、中規模企業からフォーチュン 50 社にランクインする大企業まで幅広い組織が導入しています。

米国ワークデイ (英語): <http://www.workday.com/>

ワークデイ (日本語): <http://www.workday.com/jp/>

#### 将来の見通しに関する記述について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。とりわけ、予測された業績や Workday 製品の利益に関する記述もこれに該当します。「思われる」、「可能性がある」、「予定している」、「推定する」、「今後」、「予想する」、「意図する」、「期待する」、「するため」、「計画」、「考案」などの文言や同様の表現は、将来の見通しに関する記述を示しています。これらの将来見通しに関する記述はリスク、不確定要素、仮定的見通しの対象となります。リスクが実際に発生した場合、また予測が誤りであると証明された場合、将来見通しに関する記述で黙示的に示された業績は、Workday の実際の業績と著しく異なる可能性があります。

す。リスクには、これに限りませんが、米国証券取引委員会 (SEC) への提出書類に記載されたリスクが含まれており、2020 年 4 月 30 日を末日とする Form 10-Q (四半期報告書)、今後適宜提出する報告書が該当し、実際の業績が予測と異なる場合があります。Workday は本リリースを公表した後、そのような将来見通しに関する記述の更新する義務を負いません。また現在更新する意図もありません。

本書類、また Workday のウェブサイトやプレスリリース、パブリックステートメントに記載された、未リリースで現在利用不可能なサービス、特徴、機能、向上についての説明は、今後 Workday により予告無く変更される可能性があり、計画どおりに提供されない、または提供されない場合があります。Workday のサービス購入を検討されるお客様は、現在利用可能なサービス、特徴、機能に基づいて購入をご判断ください。

©2020. Workday, Inc. All rights reserved. Workday、Adaptive Insights および Workday のロゴは、米国およびその他の地域で登録された Workday, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。